



平成29年度上半期 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 業務実績概要





平成29年度上半期 業務実績概要(病院部門)

高齢者の特性に配慮した医療の確立と提供

ア 三つの重点医療の提供体制の充実

「血管病センター」、「高齢者がんセンター」、「認知症センター」による重点医療の提供

(ア)血管病医療

- ・急性期脳卒中患者に対応するSCU(脳卒中ケアユニット)の設置に向けた準備の推進(11月より本格運用開始)
- ・重症心不全症例に対する低侵襲な治療法となる、IMPELLA(※)導入のための実施施設認定の取得(8月)
※補助循環用ポンプカテーテルの名称

(イ)高齢者がん医療

- ・がん診療連携協力病院(大腸がん・胃がん・前立腺がん)として着実にがん治療を推進(肺がんについても申請中)
- ・28年度末に更新したPET/CT装置を活用した悪性腫瘍に対するFDG検査の実施

(ウ)認知症医療

- ・認知症支援推進センターによる都内全域の医療・介護従事者に対する研修会等の実施
- ・入院患者に対する認知症ケアの推進

イ 急性期医療の取組(入退院支援の強化)

- ・東京都CCUネットワーク加盟施設、急性大動脈スーパーネットワークの緊急大動脈支援病院として重症患者を積極的に受入
- ・退院困難な患者の早期抽出、入院早期の患者・家族との面談、多職種によるカンファレンス等を実施
- ・急性期脳卒中患者に対応するSCU(脳卒中ケアユニット)の設置に向けた準備の推進(11月より本格運用開始)【再掲】

ウ 救急医療の充実

- ・救急業務の充実発展に貢献したことに対する感謝状の授受(9月)
- ・緊急画像転送システムを活用した、より迅速な救急医療の提供

エ 地域連携の推進

- ・医療機関への訪問や連携医優先の外来予約枠の確保等を通じたセンター独自の連携医制度の推進
※ 連携医数:754連携医/704医療機関
- ・地域医療連携システムの運用によるWEBを通じた連携医からの検査、診察予約の受入れ、予約枠の拡大
- ・地域連携強化のための「かかりつけ医紹介窓口」の開設(8月)及び「連携医療機関のご案内(平成29年度版)」の発刊
- ・公開CPC、公開講座等の開催による顔の見える医療連携の推進
- ・脳卒中地域連携パス症例検討会の開催(4月)

オ 安心かつ信頼できる質の高い医療の提供

(ア)より質の高い医療の提供

- ・病理解剖実績が1万体に到達(自1972年～至2017年)
 - ・高齢者特有の疾患に対応した専門外来の診療推進(フレイル外来、もの忘れ外来、CGM外来等)
 - ・学会の委員として策定に参加した「高齢者糖尿病診療ガイドライン2017」の発表・刊行(5月)
 - ・薬剤の適正使用及び医療資源の有効活用のための院内検討体制(ポリファーマシーチーム)の構築
- ##### (イ)医療安全対策の徹底
- ・警察OBの巡回による院内の安全確保と患者対応の強化
 - ・感染対策チーム(ICT)による定期的な院内ラウンドの実施

カ 患者中心の医療の実践・患者サービスの向上

- ・正面玄関に設置した院内掲示板等を活用した患者案内の工夫
- ・ご意見箱に寄せられた療養環境等の要望に対する改善
- ・職員による外来案内の実施

29年度上半期実績
(28年度上半期)

病床利用率

83.8%
(86.7%)

1日あたり入院患者数

461.1人
(477.0人)

1日あたり外来患者数

799.0人
(794.6人)

平均在院日数/一般病棟

12.0日/10.7日
(12.6日/11.9日)

診療単価(入院)

56,236円
(54,770円)

診療単価(外来)

12,013円
(11,319円)

病院部門 診療実績月次推移

表1

入院患者数と入院単価の推移

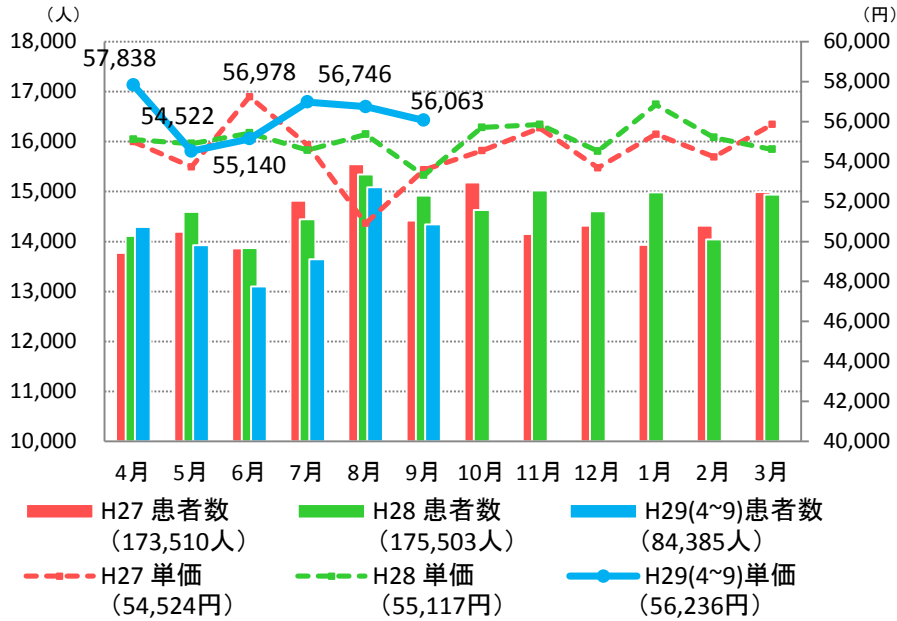


表2

外来患者数と外来単価の推移

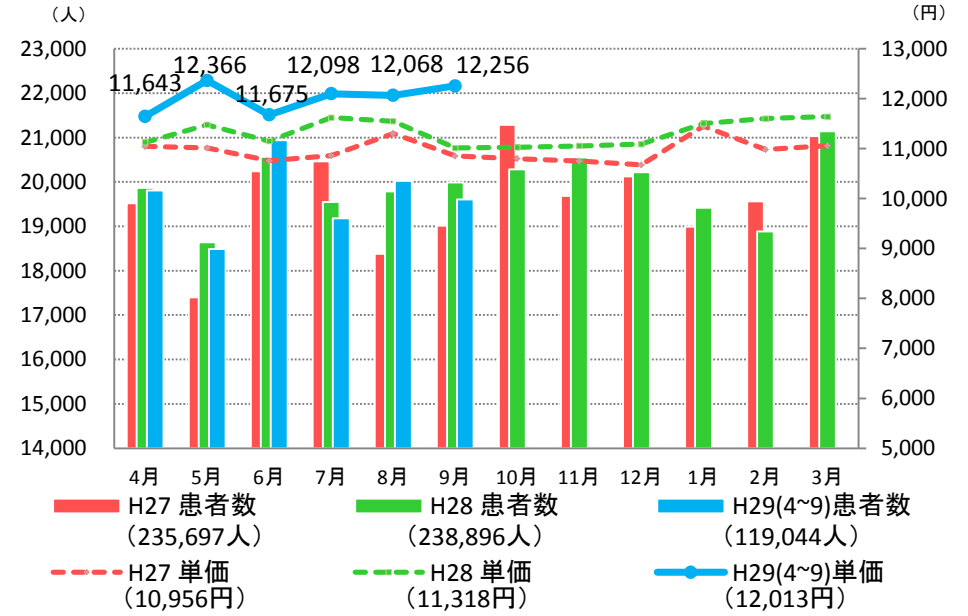


表3

病床利用率の推移

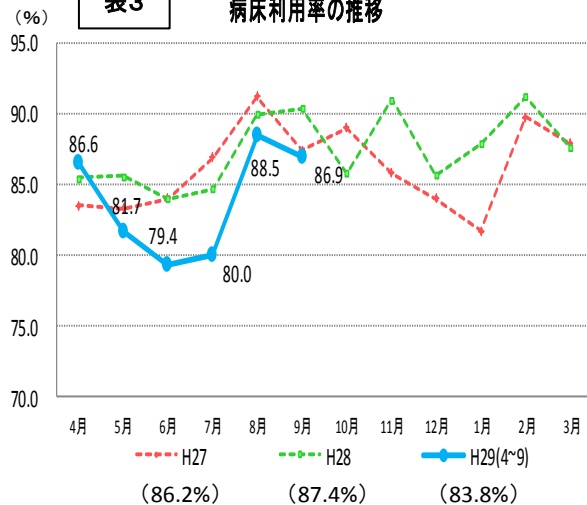


表4

平均在院日数の推移 (病院全体)

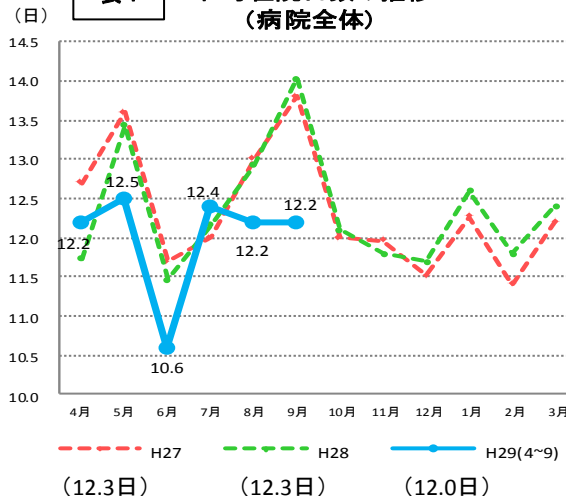
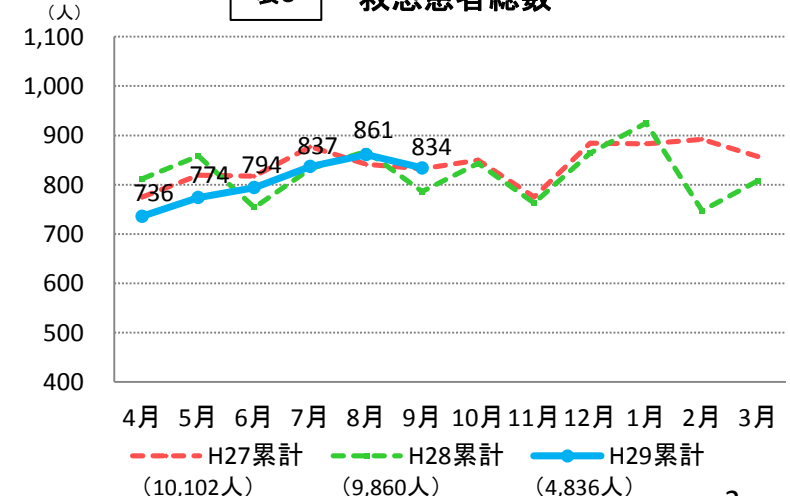


表5

救急患者総数





平成29年度上半期 業務実績概要(研究部門)

高齢者の健康の維持・増進と活力の向上を目指す研究

ア トランスレーショナルリサーチの推進

- TR情報誌の刊行やセミナーの開催等によるシーズの発掘及び育成
- トランスレーショナルリサーチ上半期新規採択課題
 - ・新規P-gp(P糖タンパク質)イメージング薬剤[¹⁸F]MC225の臨床使用を目的とした前臨床安全性評価研究
 - ・[¹³N]NH₃ PETによる心筋血流定量法におけるダイナミックPETの画像再構成法の研究
 - ・人型ロボットpepperを用いた病院サービス向上に向けたシステム開発 など全5件
- 過去最高となる外部研究資金の獲得

イ 高齢者に特有な疾患と生活機能障害を克服するための研究

- 悪性化した前立腺がんの診断、治療の新しい標的(PSF)を発見し、提唱
- 骨格筋の代謝変換を誘導する薬物及び遺伝子の同定技術を確立(日米の特許登録完了)

(自然科学系チームの各研究テーマ)

- ◆老化機構研究
分子機構、老化バイオマーカー、プロテオーム
- ◆老化制御研究
健康長寿ゲノム、分子老化制御、生態環境応答
- ◆老化脳神経科学研究
自律神経機能、記憶神経科学、神経生理
- ◆老年病態研究
血管医学、生活習慣病、運動器医学
- ◆老年病理学研究
高齢者がん、神経病理学(ブレインバンク) 等

ウ 活気ある地域社会を支え、長寿を目指す研究

- 都の委託事業として「東京都介護予防推進支援センター」を設置
地域づくりにつながる介護予防推進のため地域の実情に応じた専門的・技術的な支援を区市町村に提供
- 世代間交流研究やソーシャルキャピタル研究、生涯学習型ボランティア研究など、地域高齢者の社会活動や社会貢献活動を促進するコーディネート・支援システムのモデル開発・評価に向けた取組の推進
- 都からの委託事業として実施している「認知症とともに暮らせる社会に向けた地域ケアモデル事業」の中間報告会の開催(7月)
(社会科学系チームの各研究テーマ)
 - ◆社会参加と地域保健研究 社会参加・社会貢献、老化・虚弱の一次予防
 - ◆自立促進と介護予防研究 筋骨格系の老化予防の促進、介護予防の促進
認知症・うつ予防介入
 - ◆福祉と生活ケア研究 在宅療養支援、要介護化の要因解明
終末期ケアのあり方 等

エ 先進的な老化研究の展開・老年学研究におけるリーダーシップの発揮

- 遠藤玉夫所長代理が日本学術会議(※)の会員に任命(10月1日付)
※学術の推進への国際貢献と国内の重要事項に関する広い見地からの提言・報告を行うことを使命とする全分野の科学者の代表機関
- 健康長寿の疫学研究成果を中心にまとめた「健康長寿新ガイドラインエビデンスブック」を刊行

オ 研究成果・知的財産の活用

- 臨床と研究の両分野が連携できるメリットを活かした、「老年学・老年医学公開講座」において、医療と研究の両面から情報発信(1回開催、計 719人参加)
- 研究成果の実用化に向けた特許権の新規出願 1件

29年度上半期実績/1人あたり
(28年度上半期)

外部資金獲得件数

219件/2.3件
(222件/2.5件)

外部資金獲得金額

898,542千円/9,458千円
(702,694千円/7,808千円)

科学研究費獲得件数 (文科省・厚労省)

133件/1.4件
(128件/1.4件)

受託研究等受入件数

31件/0.3件
(36件/0.4件)

学会・論文発表件数

2,075/21.8件
(1,272件/14.1件)
※H29実績はH29.11.1時点で学会発表・論文掲載が決定済みの数値を含む

特許新規申請数

1件/0.01件
(2件/0.02件)

研究部門 各実績年度推移

表6

学会・論文発表件数

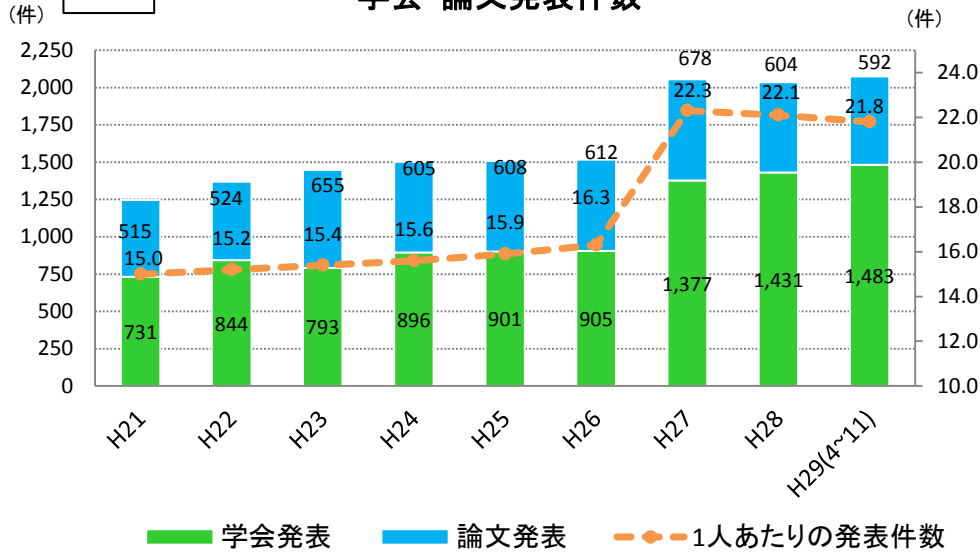


表7

外部資金獲得額

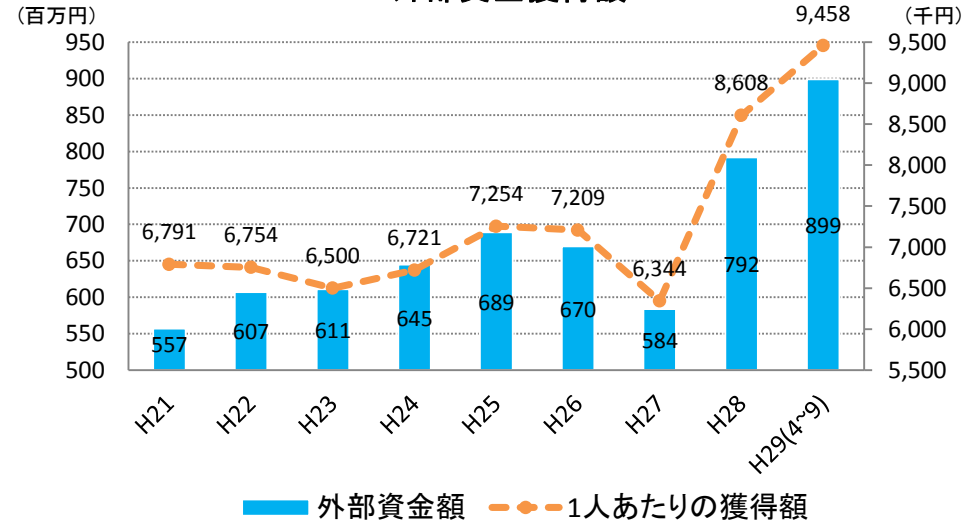


表8

科学研究費等獲得額・件数

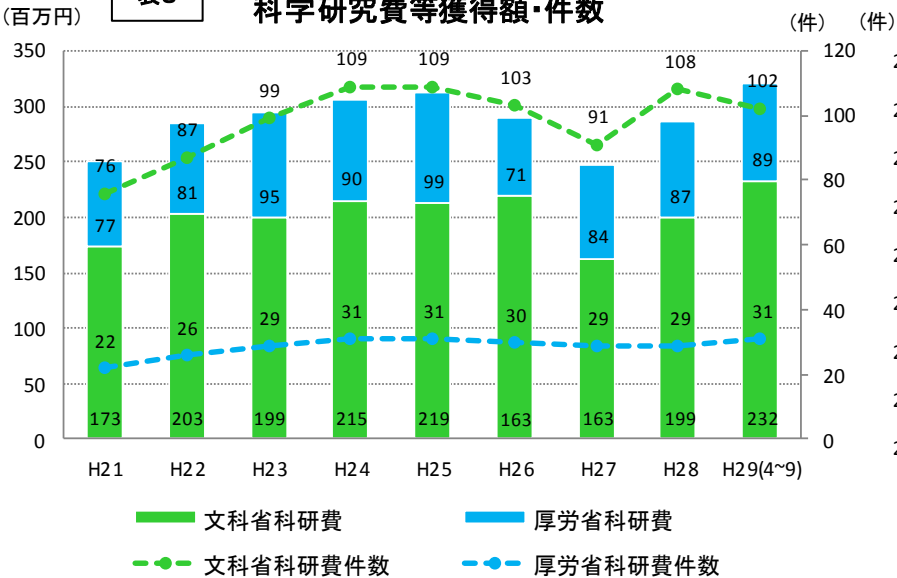


表9

外部資金獲得件数

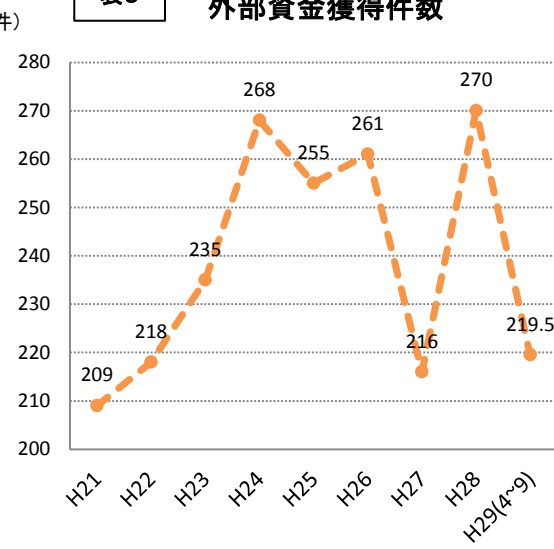
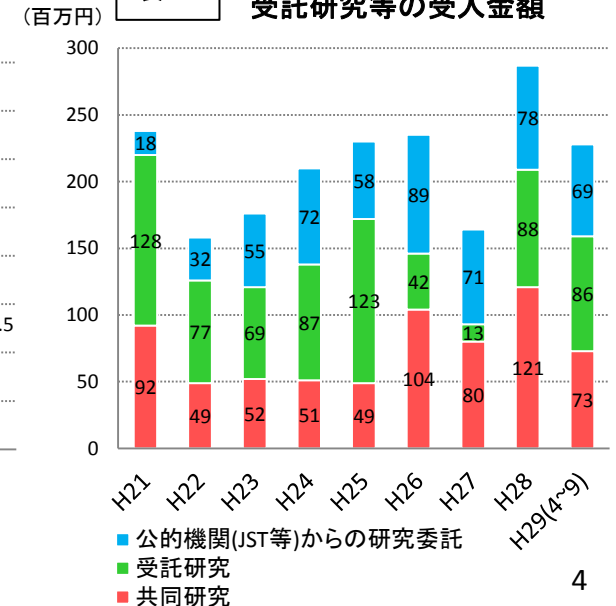


表10

受託研究等の受入金額





平成29年度上半期 業務実績概要(経営部門)

地方独立行政法人としての特性を活かした業務の効率化と経営基盤の強化

- ア 高齢者の医療と介護を支える専門人材の育成**
- センター職員の確保・育成
 - ・学会等の参加支援並びに認定医、専門医、認定看護師の資格取得支援
 - ・看護師離職防止及び定着に向けた業務評価制度の導入
 - 次代を担う医療従事者及び研究者の育成
 - ・職員研修の充実(院内感染対策・医療安全に関する講演会、保険診療・DPCコーディング研修会、ご遺体管理講演会、緩和ケア研修会 など)
 - ・院内接遇研修への学生ボランティアの受入れ(8~9月:計50名)
 - ・臨床研修医や看護師、医療専門職、研究職を目指す学生などの積極的な受入れ及び育成
 - ・連携大学院協定に基づく若手研究員の積極的な受入れ及び育成
 - 地域の医療・介護を支える人材の育成
 - ・認知症支援推進センターによる都内全域の医療・介護従事者に対する研修会等の実施【再掲】
 - ・認知症疾患医療センターとしての地域連携及び人材育成の推進
 - ・介護予防推進支援センターによる都内全域の介護予防による地域づくりに関わる人材に対するセミナーの開催

- イ 地方独立行政法人の特性を活かした業務の改善・効率化**
- ・第三期中期計画の策定に向け、外部委託を活用した経営分析を実施
 - ・病院部門中間ヒアリングにおける対象部署や実施内容の見直し及びセンター全体の課題解決に向けた各科の取組状況・意見等の聴取(9月)

- ウ 適切なセンター運営を行うための体制の強化**
- ・会計監査人監査の実施(6月)
 - ・当センターにおける研究費の適正な執行、運営、管理についてのルールや各種手続きをまとめた「研究費使用等ハンドブック」の更新(7月)
 - ・研究倫理研修(3回)、研究不正防止研修会(同内容3回)の開催
 - ・倫理委員会の適切な運営

- エ 収入の確保**
- ・Twitterを開設し、情報発信を強化(4月)
 - ・平均在院日数の適正化及び病床利用率の向上への取組
 - ・DPCナビ(NECのDPCシステム)による適正なDPCコーディングを推進するための医師向け勉強会の開催(落ち穂拾い作戦)
 - ・積極的な救急患者の受入れによる新規患者の確保
 - ・紹介率・逆紹介率の向上に向けた「かかりつけ医紹介窓口」の開設(8月)【再掲】
 - ・更なる初診料算定患者獲得に向けたWG立上げの準備
 - ・未収金管理要綱に基づく未収金対策の実施
 - ・外部研究資金の積極的な獲得

- オ コスト管理の体制強化**
- ・ベンチマークシステムを活用した診療材料費削減の推進
 - ・診療情報や財務情報等を用いた他施設とのベンチマーク分析の実施
 - ・診療材料費の効率化及び管理体制の見直しに向けたWG立上げの準備

- カ センター運営におけるリスク管理**
- ・情報セキュリティ・個人情報保護合同研修会の企画
 - ※10月より計8回開催し、未受講者に対してビデオ上映会、理解度確認シートを配布
 - ・「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の施行に伴う研究計画の自己点検及び倫理研修会の実施(4月)
 - ・情報セキュリティに対する職員への注意喚起(ランサムウェア等の不審メール対策の実施)
 - ・DMAT訓練に対する職員派遣及び災害机上訓練の実施

| |
|-------------------------------|
| 29年度上半期実績 (28年度上半期) |
| 医業収益 |
| 6,578百万円 (6,530百万円) |
| 医業費用 |
| 7,584百万円 (7,311百万円) |
| 医業収支比率 (医業収益/医業費用) |
| 86.7% (89.3%) |
| 営業利益 |
| ▲153百万円 (138百万円) |